

会 議 速 報

●開催概要

名 称	第1回 有明台小学校区コミュニティ協議会 新バスシステム説明会
日 時	平成25年5月16日 午後7時から午後8時30分
場 所	有明台小学校 1階 プレイルーム
出 席	新潟市都市政策部新交通推進課, 都市交通政策課 新潟交通株式会社
参加者	27名

●会議内容

- (1) 新バスシステムについて（新潟市説明）
- (2) 提案内容について（新潟交通株式会社説明）
- (3) 質疑・応答 ★発言者 ○新潟市発言 ●新潟交通株式会社発言

★発言者1（男性）

- ・BRTの路線が白山駅までだったものが青山に延びた理由は何か。

○新潟市

- ・当初新潟市では、新潟駅から白山駅までをBRTの運行区間としてきた。その後に、新潟交通から青山までとすることが提案された。理由としては、青山には多くの路線が通っており、仮に白山駅までのままだと、青山からの路線が白山駅までたくさん並走することになり、効率が悪い。新潟駅から青山までとすることで、効率化が図られ、より多く郊外路線などに還元することができるようになるとの提案であった。

★発言者1（男性）

- ・青山からのBRTは、何台くらいになるのか。

●新潟交通株式会社

- ・往復で282台。朝は青山発5時10分、夜は新潟駅発0時10分。一部直行便は残る。

★発言者1（男性）

- ・直行便は（外見を）見ればわかるのか。

●新潟交通株式会社

- ・わかる。

★発言者2（男性）

- ・平成21年、22年と自治協議会に参加していたが、その当時から新しい交通について討議してきた。その頃はBRTとされていたわけではなく、モノレールなども挙がっており、空港から県庁などの経路も検討されていた。今は新潟交通とBRTということになり、青山までの延伸とされた。そのなかで、具体的にはこれからだと思うが、青山から市役所までの、既存のバス停は残るのか。数が減らされることになるのか。遠くのバス停まで歩くことになるとう不便を感じるようになる。

- ・バス停は濡れないで待ってられるのか。
- ・雪が降ると、バスに乗れずにおいていかれることがあるが、そのようなことはないのか。

●新潟交通株式会社

- ・バス停の位置については、具体的にここと決まっていらないため、今は示すことができないが、大まかな考えとしては現行のバス停の利用を考えている。しかし、バス停間の距離が短い場合などについては、定時性・速達性に配慮し、統合を検討することになると考えている。
- ・バス待ち環境の整備については、バスを利用してもらうためにも、市とともに検討していきたい。

○新潟市

- ・雪道走行については、バス停によって状況が異なると思うが、それぞれの状況に応じてできるだけ環境を確保するようにしたい。

★発言者3（男性）

- ・連節バスはワンマンなのか。乗務員が乗っているのか。安全性が気になる。

○新潟市

- ・基本的にはワンマン。他都市でもワンマンであるが、安全性を確保しながら運転している。

★発言者4（男性）

- ・定時性の確保をどのように行うのか。
- ・監督官庁は1つでないとうまくいかないと思うが、今までどおりバラバラか。
- ・新潟島に流入してくる自家用車を規制しないのか。

○新潟市

- ・新潟から古町までについては、専用走行路を設けるなどしたいが、平成26年度のBRT開業時には既存レーンを活用していくことになるので、バス優先レーンや専用レーンの運用が厳格になるよう警察と連携していく。
- ・走行空間については、国と県警、市でワーキングを行っており、定時性・走行性の確保について連携を取って進めていきたい。
- ・自家用車については、道路の役割を明確にしていきたい。例えば、萬代橋のような都心軸は市外からの利用も多いため公共交通中心、郊外からくる自家用車については柳都大橋というように。また、BRT開業時の導入区間は新潟駅から青山までだが、その後、連続立体交差事業により新潟駅が高架化されると、新潟駅の南北もつながることとなり、新潟駅から鳥屋野潟方面へ延伸することができる。鳥屋野潟方面には空地や駐車場が多いため、そこを利用したパーク＆ライドの展開も考えられる。

★発言者5（女性）

- ・よくバスを利用しており安心してバスに乗っている。低床バスの導入など、よく

バスを利用する高齢者や歩行に不自由を感じる人に対して、安心して乗れる対応をされてきたが、乗り換えがあると、利便性について心配している。ただ屋根をつければ良いというものではなく、四方を囲み、また乗り換え距離についてもなるべく短くなるようにしてほしい。

○新潟市

- ・バリアフリーの考え方はベースとして必要。結節点は大きな空間になるので、防風壁などの施策は必要と考えている。乗り換え距離もできるだけ短く、バスとBRTが対面または近距離ですぐに乗り換えられるようにしていきたい。

★発言者2（男性）

- ・青山の結節点の具体的な位置は決まっているのか。

○新潟市

- ・平成26年度の開業時は、既存の道路空間を利用していくことになるのかと考えている。関屋大橋のたもとにバスが集中してくるため、その周辺の空間が想定される。

★発言者2（男性）

- ・「イオン」や「紳士服のアオキ」周辺は風が吹きさらす場所。開業までに何とかならないか。

○新潟市

- ・暫定とはいえ、環境はできる限り整えていきたいと考えている。

★発言者6（男性）

- ・主にマイカーを利用している。白山から青山にかけて道路が狭く、渋滞が心配。普通のバスでも対向車が来れば追い抜けない。連節バスであればなおさら。道路を拡幅する予定がないのであれば、渋滞の対策はどのようなのか。

○新潟市

- ・連節バスの走行自体は片側1車線で可能。幅は一般のバスと変わらないが長さは一般のバスで12m、連節バスで18mと6m長いいため追い抜きはしにくい。市としてはできる限り公共交通を優先していきたい。旧電車通りは課題として考えてはいるが、検討していきたい。

★発言者7（男性）

- ・バス料金は安ければ安いほど良いが、乗り換えで区間を区切られると、最低料金がそれぞれで取られ、高くなってしまわないか。

●新潟交通株式会社

- ・平成26年度の開業時点では、現行料金のみと考えている。乗り換えについては、ICカード「りゅーと」を使うことで直通の時より高くないよう検討する。さらに5年をかけてバス路線の再編を行ない、路線網再編完了時には今よりわかりやすい料金体系を検討していく。

★発言者1（男性）

- ・バス利用者が減ってきて効率化を図るということは理解できるが、なぜ市が連節バスを買うのか。なぜ交通に関与するのか。

○新潟市

- ・公設民営により公共交通に関与していき、よりサービスレベルの高いものを提供したいと考えている。富山のLRTも同様のやり方をしている。

●新潟交通株式会社

- ・昭和40年代からバス利用者が減少してきた。民間企業としてできる部分には限界がある。そこで市の考えに賛同し、提案させてもらった。バラバラで再編しても良いものにならず、市全体で考えていくことが大切。市全体を交通の網でおおい、結節点・走行環境も併せて整備が必要だが、新潟交通単独では限界があり、新潟市と協力して進めていきたい。

★発言者1（男性）

- ・この再編で利用者数はアップするのか。

●新潟交通株式会社

- ・国土交通省のデータでは、1haあたり70人の人口規模で、公共交通の利用率は10%以上あるとなっている。現在バスは2.8%であり、調査を行なっているが、利用者の多いところは多くの網をはるなど、さらなる調査をすすめ検討していきたい。利用者は増えると考えている。

★発言者1（男性）

- ・BRTの収支もくろみは。

○新潟市

- ・新潟駅からの都心軸では、現在1日1万人の利用があるところにBRTを導入するため、黒字になると考えている。

★発言者1（男性）

- ・利用者数を増やすということは「まちづくり」だ。BRTの収支決算をしっかりとすべき。

○新潟市

- ・平成22年の検討委員会で収支の算出を行なった。その時の資料を次回示す。

★発言者8（男性）

- ・公設民営で黒字になるのであれば、民設民営でも黒字になるのではないか。

○新潟市

- ・検討委員会の収支の算出で、公設民営と単独でどうなるかについても算出している。次回に併せて提示する。

★発言者2（男性）

- ・ある程度理解できた。市民に懸念があるのは情報開示が少なかったため。だからいろいろなことに疑問を持っている。アピタの隣に新しい住宅地ができ、青山の結節点の利用が増えるのではないかと思う。白山浦の旧電車通りは昔、線路を撤去しろとかなりの反対運動が起きた。L R Tの提案もあったが、そのようなところには難しい。これからは情報開示をどんどん行なってほしい。

※ 説明会で出していただいた意見の他、説明会終了後に提出していただきました意見提出用紙で、以下のようなご意見をいただきました。（意見欄は自由記載）

- ・説明を聞き、郊外の方々の不便さを解消するのであれば仕方ないかなと思う反面、本当に現在のバス過疎地の改善が図られるのだろうか心配。巨額の税金を使ってデメリットを強いて、メリットの面がちゃんと見えないと市民には理解されないと思います。
- ・試行してみてうまくいかない時にはいさぎよく撤回するのも大切だと思う。今回の構想は、政令市にふさわしい”見栄え”から始まったのではないかという不信感が拭えない。市長は撤回することを考えていないようなので、動機は不純でも、良い結果になれば良いかと心配している。
- ・格好良さだけを追求しての、さらに工事費のかさむL R Tの導入は絶対反対。